

佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



教職大学院 7期生 入学!

4月5日(火)、新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で佐賀市文化会館において入学式があり、7期生の教職大学院生活が始まりました。その後14:00から、オンラインで先生方と7期生との顔合わせが実施されました。先生方が場を和ませようとして時折入れるジョークにもリアクションすることができず、終始緊張状態でパソコンの画面を見つめていたように思います。最後に、最近ハマっていること等の話をしながら自己紹介をして、これから始まる大学院生活を皆で素晴らしいものにしよう!と心に誓いました。



7期生	授業実践探究コース	子ども支援探究コース	教育経営探究コース	計
ストレートマスター	6名	4名	0名	10名
現職教員	1名	4名	5名	10名
計	7名	8名	5名	20名

先輩方ありがとうございました

4月7日(木)、大学院2年生の先輩が、施設見学・案内や院生室の利用方法について丁寧に説明をしてくださいました。今後の大学院生活においても、色々な場面においてアドバイスを求めることだと思います。先輩方、今後ともよろしくお願ひいたします。

準備万端

4月8日(金)、ストレートマスターの方々にとっては手慣れた設定作業なのですが、現職教員は院生室に集まり、互いに教え合いながらパソコンの設定や履修登録等を行い、翌週から始まる授業の準備をしました。一人じゃできていないよねえとつぶやきながら、仲間の大切さを改めて実感した一日となりました。

授業開始

4月11日(月)から授業が始まりました。校種、年齢等違う方々の考えをお聞きしながら、たくさんのことを学ぶことができます。知らないことが多く、課題がなかなか進まず、無知な自分に気づき落ち込むこともあります。しかし、知らなかったことを知る喜びを感じながら過ごしています。「理論と実践の往還」を原則としたカリキュラムを通して、スパイラル的な成長を遂げていくことを目標に掲げ、様々なことに積極的に取り組んで行こうと考えています。

コロナの猛威

「コロナの状況でどうなるかは分かりませんが、おそらく今年度は対面での授業ができると思います。」と対面授業が始まりましたが、12日(火)の県内の感染者数が600人を超え、13日(水)の午後の授業からオンライン授業となりました。パソコンの画面越しに見る先生や7期生の姿に励まされながら、コロナの収束、対面授業の再開を願いながら過ごしています。

ドキドキとワクワクと

教職大学院に入学し、生活にも大きな変化がありました。環境が変わると不安を感じてしまうこともありますが、それも楽しみながら仲間と一緒に毎日学んでいければと思います!

コツコツ

オンライン授業開始と時を同じくして、我が家ではツバメの巣作りが始まりました。ツバメは、巣立っていく我が子のイメージしながら巣作りを続けているのでしょうか?毎日巣作りに励んでいるツバメの姿に、コツコツと努力を積み重ねることの大切さを教えられています。

先生方が7期生20名のツバメが巣立っていく姿をイメージしながら授業をしてくださっていることに対して感謝をしながら……。

